

2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月10日

上場会社名 株式会社メディカルー光グループ 上場取引所 東
コード番号 3353 URL <https://www.m-ikkou.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南野 利久
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 財務・IR部長 (氏名) 遠山 邦彦 (TEL) 059(226)1193
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年2月期第3四半期	28,769	13.1	1,078	52.8	1,190	34.1	812	36.0
2023年2月期第3四半期	25,427	0.9	705	△30.0	888	△17.8	597	△10.9

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 959百万円(56.7%) 2023年2月期第3四半期 612百万円(△1.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	216.20	—
2023年2月期第3四半期	159.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2024年2月期第3四半期	32,765	13,403	39.1
2023年2月期	27,505	12,607	43.8

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 12,810百万円 2023年2月期 12,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2024年2月期	—	20.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	39,720	17.2	1,210	29.4	1,300	5.9	830	9.3	220.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期3Q	4,070,000株	2023年2月期	4,070,000株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	311,873株	2023年2月期	312,973株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期3Q	3,757,571株	2023年2月期3Q	3,756,517株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年3月1日～2023年11月30日)における我が国の経済は、個人消費や企業の設備投資が、夏以降、減少に転じており、国内景気に足踏みがみられる状況にありました。しかしながら国内の物価高は鈍化基調にあるうえ、サービス消費に持ち直しがみられるほか、好調な企業業績を背景に企業の設備投資意欲も維持されており、今後は緩やかに景気回復が続くとみられています。

このような状況のもと、当社グループは足元の事業を取り巻く大きな環境変化に迅速かつ臨機応変に対応するとともに、患者さま、利用者さまの安全確保にも引き続き注力し、事業活動の継続に努めてまいりました。

2023年7月31日に公表しました「西部沢井薬品株式会社との事業統合に関するお知らせ」のとおり、2023年9月1日付で当社の連結子会社であります株式会社メディカル光と西部沢井薬品株式会社およびその子会社であります株式会社沖繩アメリの医薬品・医薬部外品等の卸売事業を統合いたしました。

これにより、当社グループの医薬品卸事業は年間売上高100億円を上回る水準となり、「調剤薬局事業」「ヘルスケア事業」と規模の面で劣らない3極体制を確立いたしました。また、グループ全体の拠点網は東海地区・西日本エリアを主体に1道2府20県の地域に拡大することになりました。

足元の事業環境は、急激なインフレと円安を背景とするコストの上昇が物価を押し上げている状況にあります。当社グループが展開する「調剤薬局事業」「ヘルスケア事業」「医薬品卸事業」の3つの事業は、いずれも公定価格が基本となっております。価格転嫁が容易ではない中での物価高騰は大きな打撃を被ることになります。

一方で医療や介護を取り巻く環境は、団塊の世代の方々全てが75歳以上となる2025年には、75歳以上の人口が全人口の約18%となり、2040年には65歳以上の人口が全人口の約35%となると推計されています。今後、国民にとって医療・介護は極めて重要となり、国民が安心できる持続可能なサービスの実現を目指さなければなりません。

こうした事業環境のなか、当社グループは事業特性や事業基盤を最大限に発揮していくことで、足元の経営課題に着実に取り組んでまいりの方針です。

このように、当第3四半期連結累計期間は、今後の当社グループの事業基盤の更なる強化に向け各種対応に取り組んでまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高28,769百万円(前年同期比13.1%増)、営業利益1,078百万円(前年同期比52.8%増)、経常利益1,190百万円(前年同期比34.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は812百万円(前年同期比36.0%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、1店舗当たりの売上増の強化を図るべく、患者さまが来店し易い店舗体制の整備に注力していきながら、地域連携薬局の拡大にも努めてまいりました。薬局へのご来店が困難な患者さまのニーズに対しても、子会社(株式会社ヘルシー薬局)を主体に、取り組みを拡大しております。こうした活動を通して患者さま一人ひとりの満足度を高め、地域の皆さまに選ばれる薬局づくりを行っております。

当第3四半期連結累計期間は、既存店舗の処方箋応需枚数が前年同期比増加しました。薬剤料単価は薬価改定の影響もあり前年同期比低下しましたが、調剤薬局事業全体の売上高は、前年同期比増収となりました。

この結果、売上高17,706百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益1,264百万円(前年同期比14.2%増)となりました。なお、当第3四半期末における当社グループの調剤薬局は合計95店舗となっております。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、施設における行動制限を一部緩和しておりますが、基本的な感染対策は当面継続し、介護サービス利用者さまが安心して施設を利用できる体制を維持するとともに、介護人材の安定的な確保を優先し、介護サービスの質の向上に取り組んでまいりました。

こうしたなか、居住系介護サービスおよび在宅系介護サービスともに、需要は緩やかながらも回復基調にあります。施設運営に不可欠な光熱費の高止まりや物価高への対応等、引続き課題は残るものの、今後も、快適に過ごせる介護サービスの実現により入居率と稼働率の向上に努めております。

この結果、売上高5,845百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益160百万円(前年同期比353.0%増)となりました。なお、当第3四半期末における当社グループの居住系介護サービスは、合計42施設(居室数1,417室)、在宅系介護サービスにおいては、通所介護事業所22ヶ所、居宅介護支援事業所18ヶ所、小規模多機能ホーム10施設、福祉用具レンタル・販売5拠点、訪問介護事業所9ヶ所、訪問看護事業所3ヶ所、ショートステイ1施設と、幅広く介護サービスを提供しております。

(医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、2023年4月以降、原価率の急激な上昇に直面し、収益環境は一変しております。従前の営業活動の延長では、これまでと同水準の利益率を確保することが困難な状況にあります。こうしたなか、当第3四半期連結累計期間において豊橋営業所や滋賀営業所を愛知営業所、三重営業所にそれぞれ集約し、営業活動の強化と効率化を図ってまいりました。

更に2023年9月1日付で当社グループの中核子会社であります株式会社メディカルー光と西部沢井薬品株式会社の医薬品卸事業の統合を実施いたしました。現在、統合効果の早期実現を図るべく、組織体制の再構築と販売力の強化に注力しております。

この結果、売上高5,081百万円(前年同期比134.6%増)、営業利益99百万円(前年同期比244.3%増)となりました。(内部売上を含む売上高は5,748百万円となり、前年同期比で97.7%増加しました。)

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高136百万円(前年同期比3.2%減)、営業利益98百万円(前年同期比7.9%増)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却益85百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として670百万円を消去するとともに、全社における共通経費として544百万円を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は32,765百万円となり、医薬品卸事業における事業譲受等により前連結会計年度末と比較して5,259百万円増加いたしました。

流動資産の合計は18,099百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,859百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が2,385百万円、現金及び預金が1,368百万円、商品が581百万円それぞれ増加したこと等によるものです。固定資産の合計は14,666百万円となり、前連結会計年度末と比較して399百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が357百万円、投資その他の資産のその他が315百万円それぞれ増加したものの、建物及び構築物(純額)が227百万円、のれんが135百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は19,361百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,464百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定を含む)及び短期借入金が1,820百万円、買掛金が1,543百万円、流動負債のその他が662百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

純資産合計は13,403百万円となり、前連結会計年度末と比較して795百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が646百万円、その他有価証券評価差額金が116百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の業績予想につきましては、現時点において2023年7月31日に公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しました数値から変更はありません。今後、修正が必要な事象が生じた際には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,443,169	7,811,683
受取手形及び売掛金	5,009,077	7,394,171
商品	1,228,229	1,809,780
その他	561,431	1,086,101
貸倒引当金	△2,388	△2,388
流動資産合計	13,239,518	18,099,348
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,506,241	5,278,275
土地	3,762,342	3,759,352
その他(純額)	318,822	401,598
有形固定資産合計	9,587,406	9,439,226
無形固定資産		
のれん	1,296,414	1,161,374
その他	182,529	170,289
無形固定資産合計	1,478,943	1,331,663
投資その他の資産		
投資有価証券	1,320,428	1,677,873
敷金及び保証金	1,047,449	1,069,693
その他	832,031	1,147,725
投資その他の資産合計	3,199,908	3,895,291
固定資産合計	14,266,258	14,666,182
資産合計	27,505,776	32,765,530
負債の部		
流動負債		
支払手形	45,553	100,384
買掛金	3,393,285	4,937,175
電子記録債務	-	191,969
短期借入金	170,000	2,810,000
1年内返済予定の長期借入金	2,694,980	2,397,760
未払法人税等	189,206	330,602
賞与引当金	222,824	28,127
その他	738,919	1,401,916
流動負債合計	7,454,768	12,197,936
固定負債		
長期借入金	6,062,910	5,541,000
リース債務	189,717	171,710
退職給付に係る負債	802,137	1,021,901
その他	388,400	429,416
固定負債合計	7,443,165	7,164,028
負債合計	14,897,934	19,361,965

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	1,081,272	1,081,749
利益剰余金	10,557,964	11,204,378
自己株式	△539,830	△537,933
株主資本合計	12,016,406	12,665,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,858	144,040
退職給付に係る調整累計額	5,068	1,267
その他の包括利益累計額合計	32,926	145,307
非支配株主持分	558,509	593,062
純資産合計	12,607,842	13,403,564
負債純資産合計	27,505,776	32,765,530

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)
売上高	25,427,609	28,769,800
売上原価	23,002,205	25,603,354
売上総利益	2,425,403	3,166,445
販売費及び一般管理費	1,719,849	2,088,022
営業利益	705,553	1,078,423
営業外収益		
受取利息	901	1,085
受取配当金	20,729	26,122
助成金収入	124,283	101,061
前受金取崩益	48,528	-
その他	30,877	32,378
営業外収益合計	225,320	160,647
営業外費用		
支払利息	39,152	39,322
その他	3,612	9,070
営業外費用合計	42,764	48,393
経常利益	888,109	1,190,677
特別利益		
固定資産売却益	20,774	-
投資有価証券売却益	23,065	85,857
補助金収入	-	2,480
事業譲渡益	69,000	-
特別利益合計	112,840	88,337
特別損失		
固定資産売却損	-	369
固定資産除却損	177	2,099
固定資産圧縮損	-	2,480
投資有価証券売却損	618	-
賃貸借契約解約損	2,584	-
特別損失合計	3,380	4,949
税金等調整前四半期純利益	997,569	1,274,066
法人税、住民税及び事業税	420,840	623,532
法人税等調整額	△45,965	△196,417
法人税等合計	374,874	427,114
四半期純利益	622,694	846,951
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,391	34,528
親会社株主に帰属する四半期純利益	597,303	812,423

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	622,694	846,951
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,291	116,206
退職給付に係る調整額	971	△3,801
その他の包括利益合計	△10,319	112,405
四半期包括利益	612,374	959,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	586,940	924,804
非支配株主に係る四半期包括利益	25,434	34,552

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,307,975	5,813,396	2,165,743	140,493	25,427,609	—	25,427,609
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	450	741,817	1,371	743,639	△743,639	—
計	17,307,975	5,813,846	2,907,561	141,865	26,171,248	△743,639	25,427,609
セグメント利益	1,106,888	35,338	28,790	91,688	1,262,705	△557,151	705,553

(注) 1 セグメント利益の調整額△557,151千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,100,693千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,706,171	5,845,728	5,081,873	136,028	28,769,800	—	28,769,800
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	450	666,369	3,491	670,310	△670,310	—
計	17,706,171	5,846,178	5,748,243	139,519	29,440,111	△670,310	28,769,800
セグメント利益	1,264,459	160,092	99,124	98,903	1,622,580	△544,157	1,078,423

(注) 1 セグメント利益の調整額△544,157千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,142,736千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。